

011109	その他 の非鉄 金属製 造業							1		2		1	2										6	
0111	非鉄金 属製造 業							1		2	1	1	3										8	
011201	洋食 器・刃 物製造 業																							
011202	ねじ等 製造業											1											1	
011203	金属プ レス製 品製造 業					1	1		1	1					1	1		2	1				9	
011204	めっき 業		1					1															2	
011209	その他 の金属 製品製 造業		25		15		16	14	20	14	15	8	16	8	13	13	8	16	12	13	13	12	4	255
0112	金属製 品製造 業		26		15		17	15	21	15	16	8	17	8	13	13	9	17	12	15	14	12	4	267
011301	機械 (精密 機械を 除く)		5		4		4	4	3	3	7	3		2	4	3	3	3	7	1	2	1	59	

030103																							
地下鉄 建設工 事業																							
030104				1					1													2	
鉄道軌 道建設 工事業																							
030105									1	1												2	
橋梁建 設工事 業																							
030106						1				2					1							4	
道路建 設工事 業																							
030107						1																1	
河川土 木工事 業																							
030108																							
砂防工 事業																							
030109									1				1								1	3	
土地整 理土木 工事業																							
030110			1		2																1	4	
上下水 道工事 業																							
030111																							
港湾海 岸工事 業						2							1							1		4	
030199																							
その他 の土木 工事業			3		2		3	1	3		3	1	3		1		2	1	3	1		1	28

0301 土木工 事業			4		5		7	1	4	2	7	1	4	1		1	1	2	1	3	2		3	49
030201 鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業			8		5		6	2	8	3	2	1	4	3	4	3	4	3	3	18	4	1		82
030202 木造家 屋建築 工事業			1				1			1			2					1						6
030203 建築設 備工事 業			1				1		1			1	2					1	1		1	2		11
030209 その他 の建築 工事業			5		8		5	4	5	1	2	11	2	3	3	4	2	2	2	2	5	2	4	72
0302 建築工 事業			15		13		13	6	14	5	4	13	10	6	7	7	6	6	7	20	10	5	4	171
030301 電気通 信工事 業			1		1		1		2										9	1	1		16	
030302 機械器 具設置 工事業			3				1	4	2	2	6	6	1	1		1	5		1	1	1		35	
030309 その他 の建設 業－そ の他			6		4		4	3		1	1	3	2	1	5	4	4	2	1	3	4		2	50

0303 その他の建設業			10		5		6	7	4	3	7	9	3	2	5	5	9	2	2	13	6	1	2	101
03 建設業			29		23		26	14	22	10	18	23	17	9	12	13	16	10	10	36	18	6	9	321
040101 鉄道・軌道業						1																		1
040102 水運業																		1						1
040103 航空業												1												1
0401 鉄道・軌道・水運・航空業						1						1						1						3
040201 ハイヤー・タクシー業																	1				1			2
040202 バス業											1		1											2
040209 その他の道路旅客運送業																								
0402 道路旅客運送業											1		1			1					1			4
040301 一般貨物自動車運送業			1				3		4	2	1	1	1			1	1		2	2	1		1	21

17 その 他の事業																							
0 全産業			2					1	3	2	2		3	1	1	6	1	1	3		2	1	29

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> (MHLW, Japan)

ガス溶接装置を起因物（小）とする死亡災害事例（2012-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コード	労働 者 規 模
2012	7	11 ～ 12	船内でガス溶接機を使用して配管の溶断作業を行っていたところ、突然「ボン」と言う爆発音とともに煙が船内からあがり、船内で作業を行っていた3名の労働者が被災した。なお、当該船舶は土砂運搬船であり、土砂投入口は開閉式となっており、この開閉は油圧式であった。また、配管は船内に設置されており、作動油を通すものであり、配管を取り外すために、フランジを固定するボルトを溶断するためガス溶接機が使用されていた。	11501	14	10 ～ 29
2012	7	11 ～ 12	船内でガス溶接機を使用して配管の溶断作業を行っていたところ、突然「ボン」と言う爆発音とともに煙が船内からあがり、船内で作業を行っていた4名の労働者が被災した。なお、当該船舶は土砂運搬船であり、土砂投入口は開閉式となっており、この開閉は油圧式であった。また、配管は船内に設置されており、作動油を通すものであり、配管を取り外すために、フランジを固定するボルトを溶断するためガス溶接機が使用されていた。	11501	14	10 ～ 29
2012	7	11 ～ 12	船内でガス溶接機を使用して配管の溶断作業を行っていたところ、突然「ボン」と言う爆発音とともに煙が船内からあがり、船内で作業を行っていた5名の労働者が被災した。なお、当該船舶は土砂運搬船であり、土砂投入口は開閉式となっており、この開閉は油圧式であった。また、配管は船内に設置されており、作動油を通すものであり、配管を取り外すために、フランジを固定するボルトを溶断するためガス溶接機が使用されていた。	11501	14	10 ～ 29
2013	2	10 ～ 11	労働者4名で転炉取鍋内に設けた油圧で昇降する作業台に乗り、ガス溶接機を用いて金具を溶断していたところ、取鍋の底に赤い光が視認された。確認のため、被災者が取鍋の底に降りたところ、突然火が燃え上がり、Ⅲ度の広範囲熱傷を負った。	11001	16	10 ～ 29
2014	5	9 ～ 10	碎石プラント施設の篩い分け装置の補修作業中、篩い分け装置内部のゴムシートが燃え出したため、消火しようと篩い分け装置内部に入った被災者は、逃げ遅れ、焼死した。	20201	16	10 ～ 29
2015	5	0 ～ 1	土砂運搬船のバラスタンク内で油圧配管の取り外し作業を行っていた。配管は、フランジ間の約3mを交換する予定であり、フランジボルトをガス溶断しているときに、突然火災が発生し、バラスタンク内で作業していた2名が被災した。ガス溶接装置のホースは、甲板から約1m垂れ下がった位置で切れていた。	11501	16	50 ～ 99
2015	4	11 ～ 12	食品工場の放冷室内において、冷却設備の取り替え工事のため、アセチレンガス溶接による銅配管の接続（ロウ付け）作業が行われていたとき、工場が火災となったもの。この火災により同作業に従事していた4名（1次下請け労働者2名、2次下請け代表者及び労働者1名）が死亡した。当時、工場は休みであり、工事全体のうち工場内では死亡の4名	30302	16	10 ～ 29

			だけが作業を行っていたもの。			
2015	4	11 ～ 12	食品工場の放冷室内において、冷却設備の取り替え工事のため、アセチレンガス溶接による銅配管の接続（ロウ付け）作業が行われていたとき、工場が火災となったもの。この火災により同作業に従事していた4名（1次下請け労働者2名、2次下請け代表者及び労働者1名）が死亡した。当時、工場は休みであり、工事全体のうち工場内では死亡の4名だけが作業を行っていたもの。	30302	16	1 ～ 9
2015	5	0 ～ 1	土砂運搬船のバラスタック内で油圧配管の取り外し作業を行っていた。配管は、フランジ間の約3mを交換する予定であり、フランジボルトをガス溶断しているときに、突然火災が発生し、バラスタック内で作業していた2名が被災した。ガス溶接装置のホースは、甲板から約1m垂れ下がった位置で切れていた。	11501	16	50 ～ 99
2015	4	11 ～ 12	食品工場の放冷室内において、冷却設備の取り替え工事のため、アセチレンガス溶接による銅配管の接続（ロウ付け）作業が行われていたとき、工場が火災となったもの。この火災により同作業に従事していた4名（1次下請け労働者2名、2次下請け代表者及び労働者1名）が死亡した。当時、工場は休みであり、工事全体のうち工場内では死亡の4名だけが作業を行っていたもの。	30302	16	10 ～ 29
2015	3	9 ～ 10	被災者と事業者は、生コン製造プラントに設置されている「骨材貯蔵ビン」と呼ばれる金属製のピットの補修作業に従事していた。代表者は骨材貯蔵ビンの内部で金属製の板をアーク溶接する作業を行い、被災者は骨材貯蔵ビンの外部で代表者の補助作業を行っていたところ、生コン製造プラントの内壁に吹き付けられたウレタンフォームに何らかの火が燃え移って火災が発生し、被災者と事業者が死亡、注文者の労働者1名が負傷した。	11702	16	1 ～ 9
2016	8	7 ～ 8	H鋼をアセチレンガスを用いて開先加工していたところ、何らかの原因により衣服に着火し、気道熱傷により死亡した。作業箇所から10mほど離れた屋外で倒れていた被災者を、出社して来た社長が発見した。	11209	11	1 ～ 9
2017	4	14 ～ 15	会社の構内（屋外）にて定盤とフラットバーを固定しているボルトを外すため、ボルトカバーに付着していたノロ（溶断時に発生した溶断屑）をガス溶断していたところ、火の粉が衣服に付着し引火し、3度の熱傷を負い、死亡した。	11501	16	10 ～ 29
2018	7	12 ～ 13	現場内に設置されている作業構台の解体作業において、建物地下3階で作業構台柱（H鋼材）の溶断作業中、発生した火花が下階の免震ピットに施工された吹付ウレタンに引火し火災が発生したものの。	30301	16	1 ～ 9
2018	7	12 ～ 13	現場内に設置されている作業構台の解体作業において、建物地下3階で作業構台柱（H鋼材）の溶断作業中、発生した火花が下階の免震ピットに施工された吹付ウレタンに引火し火災が発生したものの。	30301	16	1 ～ 9
2018	2	14 ～ 15	当該機材センター敷地内に設置されたテント内において、地盤改良機（杭打ち機）のオーガーの攪拌羽根を切断するため、被災者はガス溶接装置を使用して攪拌羽根の根元部分を切断しようとしたところ、火花が防護用の前掛けの中の衣服に引火して火傷を負い、治療のため入院していたが、広範囲熱傷による多臓器不全により死亡したものの。	30199	11	1 ～ 9
2020	12	14 ～ 16	船体ブロック内において、被災者は、一人でガス切断機を使用して、上向きの姿勢で鋼材を切断していたところ、ガス溶断の火の粉が作業服に引火し燃えだしたため、熱傷を負ったもの。	11501	11	10 ～ 29
2020	2	10 ～ 12	解体工事において鉄骨3階建の屋根部分の鉄骨をガスバーナーで切断したところ20分後に出火し、消火中に火傷。	30201	16	1 ～ 9

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html